

令和8年度  
事業計画書

東京都品川区旗の台一丁目5番8号



学校法人

昭和医科大学

## はじめに

昭和3年（1928年）の創設以来、本学は『至誠一貫』の建学の精神のもと、優れた医療人の育成に努めてまいりました。社会に大きく貢献するという理念を掲げ、教育・研究・診療のさらなる発展に寄与すべく、このたび中期計画に基づき、令和8年度の事業計画を策定いたしました。

法人事業においては、創立100周年に向け、記念事業として「旗の台キャンパス整備事業」、「鷺沼キャンパス整備事業」、「藤が丘病院再整備事業」、「富士吉田キャンパス整備事業」、「歯科病院旗の台移転事業」、「保健医療学部新学科等設置・再編事業」、「横浜キャンパス看護専門学校設置事業」を推進します。

教育活動においては、本学が目指す医療人育成のため、令和8年度に新たなカリキュラムを開始します。また、令和9年度開設予定であるリハビリテーション学科新専攻設置準備ならびに医療技術学科設置準備を進めます。

研究活動においては、研究交流会やワークショップによる研究者間の連携強化、競争的資金獲得支援、学内研究費を活用した研究助成を推進します。また、学生が参加できる研究イベントの開催、臨床研究における倫理審査の効率化、企業や包括連携協定大学との連携強化による研究成果の社会実装にも取り組みます。

診療においては、紹介患者・救急患者の受入体制を強化するとともに、地域医療機関との協力のもと「断らない救急」を推進します。さらに、働き方改革や医療機器・施設設備の計画的更新、ICT活用による業務改善を進め、附属病院の機能を生かした質の高い医療提供体制を確立します。

このように、令和8年度も多様な事業計画を策定いたしました。創立100周年に向けて、教育・研究・診療のより一層の充実を目指し邁進いたしますので、関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

学校法人 昭和医科大学  
理事長 小口 勝司

## 大学運営の目標

学祖・上條秀介博士が掲げた校是「至誠一貫」には、まごころを込めて社会に貢献する医療人を育成するという思いが込められています。昭和医科大学は「至誠一貫」の理念を脈々と受け継ぎ、社会に貢献する教育・研究・診療の向上に努めてまいりました。その理念を継承し、さらなる発展を目指すため、建学の精神に基づき、令和8年度における大学運営の目標を策定いたしました。

令和8年度は、新たなカリキュラムの開始や教育研究体制の強化を通じ、医系総合大学としての発展をさらに推進し、社会に貢献できる人材育成と学術振興の充実を図ります。

教育においては、初年次教育の充実に加え、新たなカリキュラムの円滑な実施、実習体制の強化、ICT教育の推進により、全学的な教育の質向上を目指します。

研究においては、研究交流会や助成制度による研究支援を強化し、共同研究の促進と外部資金の獲得を推進します。また、研究マインドの醸成や産学連携の推進により、研究基盤をさらに強化します。

昭和医科大学は、社会の文化と公共の福祉に貢献できるよう、今後も教育・研究・診療の充実に努めてまいります。皆様のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

昭和医科大学

学長 上條 由美

## 学校法人昭和医科大学 令和8年度事業計画

令和8年度は、本学の使命・目的に基づき、教育・研究・診療の発展に寄与するため、事業計画を策定し、以下の主要事業を推進します。

### 【主要事業】

#### I. 法人

##### (1) 創立100周年記念事業

令和10年の創立100周年に向けて、準備委員会が中心となり、記念式典・祝賀会の開催、記念イベントの実施、記念誌の発行、記念碑の作成、広報等について引き続き準備を進めます。

##### (2) 旗の台キャンパス整備事業

旗の台キャンパス整備事業として、大学施設および病院施設の整備を計画しています。鷺沼キャンパス移転後の大学機能の配置計画を検討するとともに、昭和医科大学病院、昭和医科大学病院附属東病院の機能を統合して、入院棟、中央棟、新棟における病院機能の配置計画を検討します。

また、特別高圧受変電設備が更新の時期を迎えることから設備の更新を進め、配置する建物の計画を検討します。

##### (3) 鷺沼キャンパス整備事業

令和9年度に開設予定の鷺沼キャンパス整備のため、令和6年度に工事を着工し、令和8年度も引き続き校舎の建設工事を進めます。竣工後、医学部、歯学部、薬学部の2、3年次と4年次の一部、保健医療学部の2年次から4年次、助産学専攻科の学生が学ぶキャンパスとして、移転および環境整備を行います。

##### (4) 藤が丘病院再整備計画

平成30年10月に締結した「藤が丘駅周辺の新たなまちづくりの推進に関する協定」に基づき、横浜市、東急株式会社と連携して令和7年12月に決定告示された都市計画に沿って病院実施設計協議およびインフラ盛替工事等の先行工事に取り組みます。

##### (5) 富士吉田キャンパス整備事業

令和8年度からの新たなカリキュラム開始に向けて、2ヶ年計画である新実習棟(2号館)の建設工事が令和7年度に竣工しましたので、引き続き将来計画を検討します。

##### (6) 歯科病院旗の台移転事業

旗の台キャンパス整備事業の一環として、歯科病院の機能を東病院に移転する計画について検討します。

##### (7) 保健医療学部新学科等設置・再編事業

令和9年度の開設に向けてリハビリテーション学科言語聴覚療法学専攻、視覚機能療法学専攻ならびに医療技術学科診療放射線技術学専攻、臨床工学専攻、歯科衛生学専攻の設置・再編申請の準備を進めます。令和8年度はターゲット層に応じた広報施策、Webコンテンツの強化および学校訪問活動の拡充を通じて受験動機の醸成を図り、志願者の獲得に努めます。

#### (8) 横浜キャンパス看護専門学校設置事業

令和9年4月、昭和医科大学附属横浜看護専門学校を横浜キャンパスに開校します。今年度は、認可申請を進めるとともに、学修環境の整備を中心に、カリキュラムの編成、インフラの整備、開校の周知および志願者確保のための広報活動に取り組みます。

## II. 教育

### (1) 教育体制の強化

令和8年度は一年次から全学部で新たなカリキュラムを導入し、専門基礎教育を早期から広く学修します。また、ICTを活用した教育(学修管理システム、e-learning等)を全学的に推進し、教育の質向上を図ります。

### (2) 学部別教育の充実

医学部では新たなカリキュラムの円滑な実施と臨床実習の質向上を進めます。  
歯学部では卒業要件見直しおよび臨床実習マニュアル整備を推進します。  
薬学部では実務実習の改善、早期臨床教育の推進、研究マインド醸成教育を強化します。  
保健医療学部では各専攻における実習体制の強化を図り、シミュレーション教育を推進します。  
看護専門学校では臨地実習体制の充実と学修支援の強化に取り組みます。

### (3) 国家試験を見据えた教育

各学部において、国家試験を見据えた教育内容の充実を図り、日常的な学修を通じた基礎学力および応用力の向上に取り組みます。

### (4) 教育支援体制の強化

学生支援、キャリア支援、メンタルサポート等の充実を図り、教育支援センター機能を強化します。

## III. 研究

### (1) 競争的資金獲得のための支援

附属病院を含む学内の研究者向けの研究交流会や研究ワークショップを開催し、様々な情報を発信するとともに、異なる研究分野の研究者による共同研究を活性化させ、大型研究費の更なる獲得に努めます。

### (2) 研究活動促進のための支援

学内研究費の一部を活用した研究助成制度による研究費支援を実施するとともに統括研究推進センターが研究相談や外部資金獲得支援等、幅広い支援を継続的に実施し、更なる研究活動の推進に努めます。

### (3) 研究マインドの醸成のための取り組み

教育職員だけでなく、大学院生や学部学生が参加できる研究に関するイベントを開催し、本学の研究マインドの醸成に努めます。

(4) 臨床研究の推進および質の向上

臨床研究における倫理審査に係る手続きの効率化を推進するとともに、各種法令や指針等の遵守に努めます。

(5) 産学官金連携の推進

研究シーズ・ニーズの社会実装を促進するため、企業や包括連携協定校・特別協定校との共同研究、産業界への技術移転支援、知財管理を強化し、既存の学内初ベンチャー企業の支援とともに新たなベンチャー企業の創出にも取り組み、研究成果の社会還元を目指します。

#### IV. 国際交流

(1) 学生の国際化教育の促進

魅力ある海外研修プログラムを構築し、海外選択実習や夏季休暇等を利用した海外研修へ100名を超える学生を送り出します。また、留学生と本学学生の交流活動を活発化させるとともに、海外で活躍する本学同窓生や海外の研究者等による国際交流セミナーを実施します。これらの活動を通じ、国際的視野を持ち、海外と交流できる学生を育成します。

(2) 留学生の受入れと環境整備

協定校から多くの学部留学生を、また、様々な国や地域から大学院留学生を受け入れます。本学で安心して研究・研修できる環境を提供します。また、各教室・診療科、保健管理センター等と連携し、感染対策や安全対策に留意した受入を継続します。

(3) 研究者招聘と国際連携の強化

海外の研究者を招聘し、海外の大学・教育機関・医療機関との連携を深めることで、国際交流活動の活性化、および本学のブランド力の強化を図ります。

(4) 国際交流活動の情報発信

News Letter やソーシャルメディア等を積極的に活用し、本学の国際交流活動を国内外へ広く発信します。

#### V. 診療

(1) 患者受入体制の強化

附属病院全体で、紹介患者・新規入院患者の増加に向けた取組を推進します。紹介元医療機関との連携強化、Doctor to Doctor 制度の活用、救急受入体制の整備等を通じて、入院・外来患者の獲得に努め、各病院の機能に応じた効率的な患者受入を実現します。

(2) 救急診療の充実および地域医療の貢献強化

「断らない救急」の実現に向け、救急外来体制の強化、複数同時受入れへ対応可能な仕組みの構築、救急科・専門診療科の連携を推進します。また、地域医療機関との連

携を一層強化し、地域の需要に応え、地域医療を支える体制を強化します。

(3) 働き方改革の推進と労務環境の改善

医療安全を確保しつつ、タスクシフト・タスクシェアを全職種で推進し、医療従事者の業務負担軽減と業務の効率化に努めます。シフト勤務・チーム制診療など柔軟な働き方を取り入れ、ワークライフバランスに配慮した労務環境の構築を図ります。

(4) 機器更新および設備維持管理の計画的推進

中長期計画に基づき、附属病院全体で医療機器の計画的更新および施設設備の維持管理を進めます。手術室・医療機器の更新、建物設備の経年劣化対策、空調設備・外壁等の改修を適切に実施し、高度かつ安全な医療提供体制の維持を図ります。

(5) 診療機能向上に向けた運営効率化と質改善

外来運営の効率化、病床運用の最適化、ICT活用による業務改善を推進します。また、臨床指標（クリニカルインディケーター）や医療の質指標（QI）を活用した継続的な質改善に取り組み、附属病院全体において医療の質の向上を図ります。

(6) 附属病院間の連携強化

救急・がん医療・回復期リハビリ・歯科医療など、各病院の特性を生かした役割分担をさらに明確化し、病院間連携を強化します。附属病院全体として最適な医療提供体制を構築し、患者に対して切れ目のない医療を提供します。

## VI. 管理運営

(1) 管理運営体制の整備と円滑な法人運営

①活性化推進委員会の活動

法人・大学活性化推進プロジェクトおよび病院活性化推進プロジェクトを引き続き実施し、運営上の問題点を顕在化させ、その解決策を立案し、迅速かつ具体的に実行します。

②創立100周年記念事業募金の推進

創立100周年に向け策定された各記念事業を実現するため、創立100周年記念事業の周知や、ホームページ等を活用した募金活動を行います。さらに寄付募集プラットフォームの充実や申し込み方法の拡充により目標金額(30億円)の達成に向けた活動を進めます。

③創立100周年記念学校債募集の推進

創立100周年記念事業を円滑に実行するため、令和7年12月より創立100周年記念学校債第2期の発行を開始しました。第1期と同様に目標額の10億円を目指して広く周知します。

(2) 施設設備の整備・活用

①情報基盤環境の整備

新キャンパスのネットワーク構築や各キャンパスのネットワーク環境を整備し、教育や大学運営等で利用する情報基盤システムの整備を進めます。

②附属病院システムの統一更新

附属病院の電子カルテシステムを統一化する計画のもと、病院間のネットワーク整備、部門システムの更新を計画し、医療DXへの対応を行いながら仕様を統一するよう整備を進めます。

(3) 大学・高校・地域との連携強化・充実

①大学・高校との連携強化・充実

包括連携協定大学との連携事業や共同研究の推進、定期的な連絡会を実施します。さらに高校との包括連携協定を促進し、高大連携に取り組みます。

②地域との連携強化・充実

各地域の自治体、企業、町内会等と様々な活動を実施し、地域活性化・地域貢献に取り組みます。

(4) 大学ブランディング施策事業

知名度向上を目的とする大学ブランディング施策事業として、一貫したメッセージと統一されたデザインによる広報活動を推進します。本学の理念「至誠一貫」を基盤とし、日本一のチーム医療教育を実現している大学としてのブランド認知を強化します。創立100周年に向け、本学の価値を広く社会に伝えるため、戦略的な広報活動を継続します。

# 主な事業計画

## 1. [法人]

### 1) 医療機器等

(1) なし

### 2) 施設設備

(1) 鷺沼キャンパスネットワーク構築事業 (2/3 期)

(3) 事務システムサーバ更新事業

(5) 埼玉DC仮想基盤拡張事業

(7) 富士吉田キャンパスシステム基盤更新事業

(9) 富士吉田キャンパスネットワーク装置更新事業

(11) 電子カルテ インシデント管理システム更新

(13) 5号館屋上モジュールチラー整備工事 (3/3 期)

(15) 鷺沼キャンパス校舎建築工事

(17) 特高受変電設備更新工事 (1/5 期)

(19) 長津田寮耐震補強改修工事 (1/2 期)

(21) 守衛室内自動火災報知設備更新

(23) 富士吉田すみれ寮・白樺寮加圧給水ポンプユニット更新工事

(25) 富士吉田校舎食堂エアコン設置工事

(27) 富士吉田自然教育園ビオトープ整備計画 (4/5 期)

(29) 鷺沼キャンパス機器備品移転

(31) 藤が丘病院再整備計画 設計業務

(33) 藤が丘病院再整備計画 工事業務 (インフラ盛替工事分)

(35) 藤が丘病院再整備計画 設計業務 (測量業務)

(37) 横浜看護専門学校 開校整備事業

(39) 旗の台キャンパス整備計画検討業務

(41) 入学志願者募集強化にむけた広告等活動費

(43) 保健医療学部 学生募集 (新学科・専攻込み)

(45) 富士吉田キャンパス樹木整備計画

(47) 大学ブランディング施策事業

(2) 鷺沼キャンパスネットワーク配線工事業

(4) メール及び認証基盤システム更新事業

(6) 学内情報共有基盤更新事業

(8) 旗の台キャンパスネットワーク装置更新事業

(10) 電子カルテ 情報共有サービスの導入

(12) 電子カルテ 感染管理システム更新

(14) 16号館空調設備整備工事 (2/2 期)

(16) 昭和医科大学病院再整備計画検討業務

(18) 特高棟建屋設計料

(20) 7号館冷温水発生機整備工事 (2 台)

(22) 富士吉田校舎教室AV機器改修工事

(24) 富士吉田校舎グラウンド照明LED更新工事

(26) 富士吉田校舎3号館屋上・外壁補修工事

(28) 鷺沼キャンパス機器備品購入

(30) 藤が丘再整備計画プロジェクト全体統括  
・地域の合意形成支援業務

(32) 藤が丘病院再整備計画 再整備計画調査業務  
(地盤調査・土壌汚染概況調査分)

(34) 再整備計画 設計業務 (土地区画整理事業関連業務)

(36) 藤が丘病院再整備計画 設計工事関係業務

(38) 創立100周年記念事業関係

(40) 電子ジャーナル・データベース等電子版資料の契約

(42) 看護専門学校温水ボイラー更新工事

(44) 富士吉田校舎新実習棟 (2号館) 3階機器備品購入

(46) 教育・研究機器設備等整備費

### 3) 土地取得

(1) 土地取得

## 2. [昭和医科大学病院]

### 1) 医療機器等

(1) 電子カルテ情報共有サービス導入

(3) 大学病院・東病院 電子カルテネットワーク機器更新

(2) 超音波診断装置の更新(超音波センター検査室 [第8室])

(4) 電子カルテ 感染管理システム更新

- (5) NBC災害・テロ対策設備整備費補助事業参画に伴う機器備品
- (7) 東京都救命救急センター設備整備事業
- (9) 電子カルテ インシデント管理システム更新
- (6) ハイブリッド手術室対応多軸透視・撮影装置の更新
- (8) 東京都周産期母子医療センター設備整備事業
- (10) 医療情報データ統合管理システム構築

## 2) 施設設備 (中央棟)

- (1) ボイラー (NO.1~4)更新 (2/4期)
- (3) ナースコール設備更新 (3/3期)
- (2) 中央棟・入院棟各所への止水板設置
- (4) 特高受変電設備更新工事 (1/5期)

## 3) 施設設備 (入院棟)

- (1) 16階PAC更新 (1/3期)
- (3) B3/MB3階ハロندانパー更新 (2/3期)
- (5) 冷温水発生器分解整備 (6/6期)
- (2) 3/4/6/10/12階PAC更新 (2/2期)
- (4) 軟水装置No. 2

## 3. [昭和医科大学病院附属東病院]

### 1) 医療機器等

- (1) 眼撮影装置 (超広角走査型レーザー検眼鏡) 更新
- (3) 心電図検査装置更新
- (5) 半自動除細動器更新
- (7) 電子カルテ 感染管理システム更新
- (9) 電子カルテ 情報共有サービスの導入
- (2) 移動型X線装置更新
- (4) E5心電図モニター更新
- (6) 電子カルテ インシデント管理システム更新
- (8) 東病院 電子カルテネットワーク機器更新

### 2) 施設設備

- (1) なし

## 4. [藤が丘病院]

### 1) 医療機器等

- (1) 再来受付機6台更新
- (3) インシデント管理システム更新
- (5) 血管造影X線撮影装置1式
- (7) 人工呼吸器 (E v i t a V 8 0 0) 2台
- (9) 経皮的心肺補助装置 (ECMO) 1台更新
- (11) セントラルモニタ (W E P - 1 4 5 0) 2台
- (13) 手術台2台更新
- (15) 人工心肺装置1式
- (17) 超音波手術器 (C U S A) 1式
- (19) 内視鏡システム1式
- (21) 個人用多用途透析装置2台
- (23) 除細動器1台
- (25) 超音波画像診断装置1台
- (2) 感染管理システム1式更新
- (4) 放射線ネットワークスイッチ更新
- (6) 全身用X線骨密度測定装置1式
- (8) 人工呼吸器 (HAMILTON C6) 3台
- (10) 超音波手術器 (SONOPET) 1式
- (12) セントラルモニタ (CNS-2101) 1台
- (14) 无影灯・映像システム1式
- (16) 電動ベッド30台
- (18) 麻酔器1台
- (20) 皮膚良性血管病変治療用レーザー装置1式
- (22) 血液浄化装置1台
- (24) AED3台
- (26) 電子カルテ共有サービス

## 2) 施設設備

- (1) 冷温水発生機更新
- (2) 汚水排水桝新設工事

## 5. [藤が丘リハビリテーション病院]

### 1) 医療機器等

- (1) 再来受付機 2 台更新
- (2) 感染管理システム更新
- (3) インシデント管理システム更新
- (4) 放射線ネットワークスイッチ更新
- (5) X 線透視診断装置 1 台
- (6) 医用テレメーター 1 台
- (7) 重要パラメータ付多項目モニタ 3 台
- (8) ベッドサイドモニタ 1 台
- (9) 電子カルテ共有サービス

## 2) 施設設備

- (1) エレベーター改修工事 (2/3 期)

## 6. [横浜市北部病院]

### 1) 医療機器等

- (1) 救急センター超音波画像診断装置更新
- (2) 産婦人科超音波画像診断装置更新
- (3) 広面角デジタル眼撮影装置
- (4) 超音波手術器更新
- (5) 血管撮影システム更新
- (6) 線量検証システム更新
- (7) 人工呼吸器更新
- (8) 全員麻酔器更新
- (9) 個人用多用途透析装置更新
- (10) 汎用人工呼吸器更新
- (11) 陰圧人工呼吸器更新
- (12) 乾熱滅菌庫更新
- (13) 手術用照明器更新 (3/5 期)
- (14) 一般ベッド更新
- (15) 再来受付機更新
- (16) 電子カルテ感染管理システム更新
- (17) 電子カルテインシデント管理システム更新
- (18) 電子カルテ情報共有サービス導入

## 2) 施設設備

- (1) 直流電源装置 (非常照明・操作用) 更新工事
- (2) 自動制御装置 (手術室系統) 更新工事
- (3) 冷熱源設備更新工事 (3/3 期)
- (4) 西棟消防設備更新工事 (2/3 期)
- (5) 中央棟消防設備更新工事 (2/2 期)

## 7. [江東豊洲病院]

### 1) 医療機器等

- (1) 電子カルテ情報共有サービス
- (2) 周産期汎用超音波画像診断装置の更新
- (3) 新生児小児用人工呼吸器の更新
- (4) 新生児用人工呼吸器
- (5) 開放型保育器・蘇生台
- (6) 救急車搭載機 整備 (除細動器・ベッドサイドモニタ)

## 2) 施設設備

- (1) P B X 更新・ナースコールスマートフォン化
- (2) U P S バッテリー交換 (200KVA)
- (3) 手術室 L E D 化

## 8. [豊洲クリニック]

### 1) 医療機器等

- (1) 超音波画像診断装置 (腹部用)
- (2) 超音波画像診断装置 (婦人科用)
- (3) 自動体外式除細動器

### 2) 施設設備

- (1) 空調機 PAC 更新工事 (3/7 期)

## 9. [烏山病院]

### 1) 医療機器等

- (1) 自動体外式除細動器

### 2) 施設設備

- (1) 中央棟空調機更新工事 (1/5 期)
- (2) 中央棟空調機更新工事 (2/5 期)
- (3) 中央棟外壁改修工事 (2/3 期)

## 10. [歯科病院]

### 1) 医療機器等

- (1) ベッドサイドモニタ
- (2) 手術室ベッドサイドモニタ
- (3) ドラフトチャンバー
- (4) 超音波付ジェットウォッシャー洗浄器
- (5) アーム型 X 線 CT 診断装置

### 2) 施設設備

- (1) AHU 更新工事 (2/5 期)
- (2) FCU 更新 (2/5 期)
- (3) 手術室改修工事 (1/2 期)

## 11. [歯科内科クリニック]

### 1) 医療機器等

- (1) なし

### 2) 施設設備

- (1) なし

## 結 び

令和8年度の事業計画は、以上各号に述べたとおりであります。

私立大学を取り巻く社会・経済の状況は誠に厳しいものがありますが、今後とも各位の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年3月31日

学校法人 昭和医科大学

